

草の実の混入をなくそう!

緊急課題

県内産麦については、平成12年産から民間流通麦として流通しています。民間流通麦は、民間流通連絡協議会による実需者との情報交換により需要と生産のミスマッチを解消することが1つの柱となっています。県内産麦についても実需者から、「草の実混入の麦は、いらない」との厳しい意見も寄せられており、産地として緊急に対策を講じる必要があります。

◆ 生産対策 ◆

■ 除草の徹底

★ 播種直後の土壌処理除草剤散布

カラスノエンドウの発生圃場は更に

◎ アクチノール乳剤散布(麦生育期茎葉処理)

カラスノエンドウ2～3葉期までに必ず散布

■ 収穫前圃場点検

★ 雑草の抜き取り徹底

カラスノエンドウ
第2～3葉期



第2葉期

第3葉期

生産対応

ミスマッチ解消

実需者の要望

草の実混入麦は、いらない!!

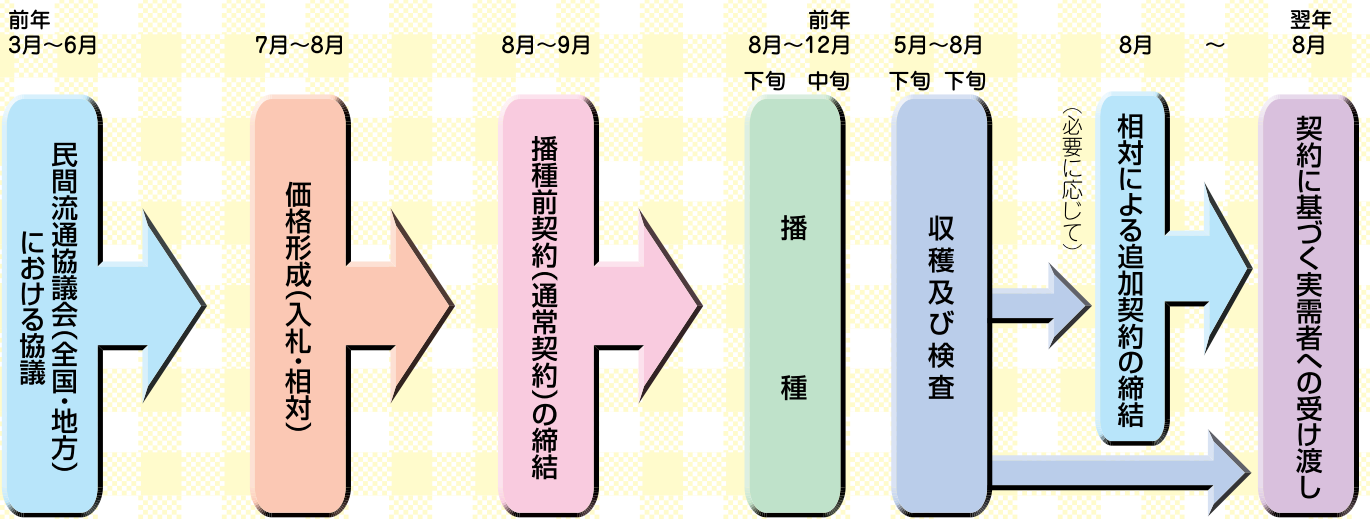
民間流通麦

実需者ニーズの把握
ミスマッチの解消

播種前契約の締結
入札による価格形成

良品質麦の生産促進
品質取引

◎民間流通麦の取引の流れ



◎麦に混入する主な草の実

《カラスノエンドウ》



開花期(4月20日)



種子、3mm



花



莢果

《スズメノエンドウ》



開花期(4月25日)花は小さい



種子、2mm、模様がある

《ヤエムグラ》



開花期(6月2日) 茎や葉に小さな刺がある



種子、2mm、毛がある

《カスマグサ》



小葉の数はスズメノエンドウより少ない